

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) レイタクダイガク	フリガナ) ケイザイガクブ	フリガナ) カゴゼミナール
麗澤大学	経済学部	籠ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) カミツキハンター	フリガナ) サカベ コウキ	5人	無
カミツキハンター	坂部 康樹		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)
パワーポイント 2013

研究テーマ (発表タイトル)
先生、顧問持てますか？ (部活動顧問の負担軽減)

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

教員の部活動についての問題が多く取り上げられている。部活動の顧問を持ちたくないという教員が増えている現実があります。「ブラック部活」という言葉も出てきています。このような社会問題を少しでも解決し、教員の部活動の負担を減らすために定年後の元教員が顧問の負担を軽減するシステムを提案します。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

文部科学省のデータで中学校では2日、高校では1日休養日を設定し、大会などに参加などで祝日、土曜日、日曜日に活動する必要がある場合は、ほかの曜日で休みを確保することとなっているが実際問題として休みが確保されていない現状がある。[運動部における休養日などの設定例]休みが少ないことで生徒だけでなく教師にもかなりの負担になっており、余裕を持った生活が送れないという現実になっている。それを解消するために、部活動指導員制度というものがある。この制度により、部活動の顧問

負担軽減につながっているが、資格を取れば誰でもなれてしまうため信頼性が薄くなる。また、お金もかかるため、利用しにくいのではないかと考えられる。そこで私たちは、この制度よりも信頼性が高く、お金がかからない仕組みを研究しました。

3. 研究テーマの課題

私たちの考えた仕組みには問題が発生する。それは安全面と指導面である。なぜこの2つの課題が発生してしまうのかというと、安全面に関しては学校とは無関係の人が学校に立ち入り部活動で指導するということになるため、信頼性などが劣る可能性がある。指導面に関しては、私たちが紹介した人物がどのレベルの人なのかということがわからないため素人でも登録できてしまうかもしれない。これらの問題だけではなく、成りすまし行為や、いやがらせ行為といった問題も出てきてしまうだろう。このような問題が私たちが解決しなければ意見いけない課題となっている。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

前文で述べた課題を解決するために私たちは、元教え子による定年退職した先生の推薦制度を導入することを考えた。推薦制度を導入すれば、推薦者と定年退職した先生はつながりがあり信頼できる。推薦する際に、その先生の実績、印象、指導方針などといった様々な項目を記入してもらうため、求めている学校側のニーズに合った人が見つかるため安心安全かつ指導力が劣らないと考えている。また、このサービスは身内だけでやるのではなく SNS などを用いて他大学や現在社会人の方々にも協力してもらってサービスの拡大化をしていく。そうすれば、いろいろな協議に対して指導員を配置することができるため課題を克服できると考えている。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

私たちは顧問の負担の現状について詳しく知るため、母校へのヒアリング調査を実施しました。ヒアリング調査をした結果、現役の先生の抱えている問題などを聞き出すことができました。専門競技を持っている先生はそこまで負担になっていないが、専門競技ではない部活を持つとなったら、負担になるだろうと先生方は思っていた。このヒアリング調査の結果を中心に研究を重ねていきました。

6. 結果や今後の取り組み

私たちの研究でできた仕組みは推薦された元教員による指導となるので安心して活用できる。また、学校側のニーズに合わせて厳選して私たちで選ぶことになるため、現在ある部活動指導員制度よりも活用しやすいのである。私たちの仕組みは今のところ土台の部分が出来上がったただけのため、今後研究をより重ね、利用しやすくして実用していけるように改良していく。

7. 参考文献

http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/shingi/013_index/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2017/05/29/1386194_04.pdf(スポーツ庁資料)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経BPマーケティング社様に作製していただく大会結果HPに本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、提出してください